

ひろしまの遺跡

第100号



箱山第5号古墳調査風景



箱山第3～6号古墳 みよししむこうえ たまちはこやま (三次市向江田町箱山)

調査期間(平成18年8月21日～12月8日)

箱山第3～6号古墳は天良山から南西に延びる尾根上にあります。

第3・4号古墳は、直径約8～10m、高さ1～1.75mの円墳です。第3号古墳(横穴式石室)は6世紀末～7世紀前半頃に造られ、須恵器片・耳環が出土しています。第4号古墳は5世紀代に造られた古墳です。

第5・6号古墳は5世紀代に造られた方墳で、特に第5号古墳は県内でも珍しい、葺石を全面に葺いた2段築成の方墳で、規模は基底部(下

段)で13.7m×14m、上段で9.2～10m×9m、基底部(下段)からの高さは2.5mです。墳頂部の箱式石棺2基には、いずれも小円礫を敷き詰めた礫床に粘土枕があり、鉄器が出土しています。

第6号古墳は一辺9.3m、高さ1.5mの規模で、玉類が出土しています。

第5号古墳の葺石基底部の石の据え方は、弥生時代の四隅突出型墳丘墓や古墳時代前半期の古墳にみられる列石と共通しており、古墳の築造時期を知る手がかりとなっています。(地図①)



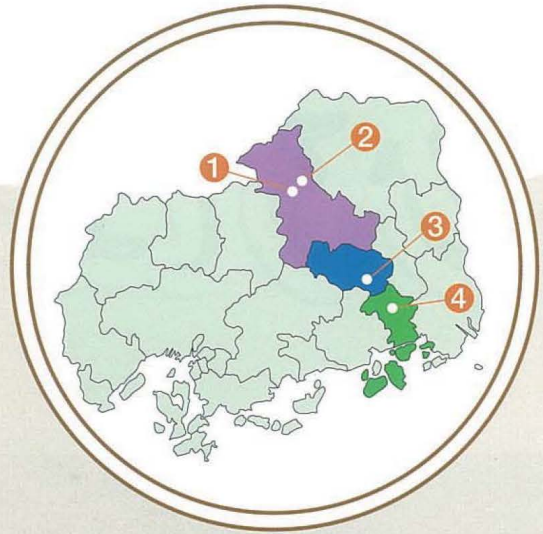
段遺跡 (三次市四拾貫町)

調査期間 平成18年 9月19日～12月15日

段遺跡は、平坦な台地上にあります。

古墳時代の方形の竪穴住居跡2軒、掘立柱建物跡3棟などとともに、旧石器時代の石器・石材の集中部4か所が見つかりました。

出土品には土師器の壺・甕・高杯、須恵器の杯身・杯蓋や鉄器のほか、ハンマーストーンや剥片・石核などの旧石器があります。(地図②)



金井原遺跡 (第2次) (世羅郡世羅町川尻)

調査期間 平成18年 8月28日～11月10日

金井原遺跡は、昨年の調査区の東側を調査しました。

弥生時代中期前半頃の竪穴住居跡7軒や掘立柱建物跡5棟、木棺墓7基などが見つかりました。竪穴住居跡は、直径5～9.5mの円形住居が多く、掘立柱建物跡は1間×2間の規模、木棺墓は住居から約10m離れた場所に造られています。出土品は弥生土器の破片、石器や土器片で作った紡錘車などがあります。

丘陵のやや高い方に竪穴住居、低い方に掘立柱建物の倉庫、やや離れて墓地があり、集落のなかのそれぞれの位置関係がわかる興味深い例となりました。(地図③)



段遺跡 古墳時代住居跡



金井原遺跡 遺跡見学会



曾川1号遺跡 (M地区) (尾道市御調町大町)

調査期間 平成18年 9月11日～12月22日

曾川1号遺跡は、芦田川の支流御調川の南にあって、川に向かって延びた丘陵の裾にあり、平成14年度から継続して調査をしています。今回見つかったのは竪穴住居跡9軒や土坑29基などです。今回縄文時代後期の土坑が見つかったことから、曾川1号遺跡は縄文時代後期、弥生時代後期、古墳時代から近世にかけて長期にわたって集落が営まれたことが明らかになりました。(地図④)



曾川1号遺跡 (M地区) 調査風景



●平成18年度発掘調査一覧●

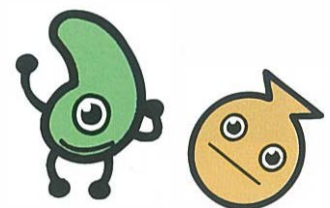
番号	遺跡名	所在地	内 容
1	家ノ城跡 (第4次)	尾道市	14世紀の城跡
2	大番奥池第1～4号古墳	三次市	6世紀前半の古墳 (円墳・木棺墓), 鉄鏃・刀子出土
3	北野山遺跡	三次市	9世紀の集落跡 (掘立柱建物跡)
4	向江田中山遺跡	三次市	7世紀前半の集落跡 (竪穴住居跡・掘立柱建物跡)
5	和知白鳥遺跡 (第1次)	三次市	5・6世紀の集落跡 (竪穴住居跡・掘立柱建物跡), 7世紀中頃～8世紀の古墳, 旧石器出土
6	段遺跡 (第1次)	三次市	古墳時代の集落跡 (竪穴住居跡・掘立柱建物跡), 旧石器時代の石器・石材の集中部
7	箱山第3～6号古墳	三次市	5～7世紀の古墳 (円墳2・方墳2), 第5号古墳の葺石基底部の石の掘え方は四隅突出型墳墓の列石と共通
8	曾川1号遺跡 (M地区)	尾道市	縄文時代中期と弥生時代後期～古墳時代初頭の集落跡 (竪穴住居跡・溝状遺構・土坑)
9	金井原遺跡 (第2次)	世羅町	弥生時代中期前半の集落跡 (竪穴住居跡・掘立柱建物跡・溝状遺構・木棺墓・柵跡)

●平成19年度発掘調査予定一覧●

番号	遺跡名	所在地	期 間
1	若見迫遺跡	三次市	4月16日～5月25日
2	城平山遺跡	呉市	4月16日～5月25日
3	家ノ城跡 (第5次)	尾道市	4月16日～6月中旬
4	片野中山第9～12号古墳	三次市	4月16日～8月上旬
5	右谷遺跡	三次市	4月16日～8月上旬
6	宮の本第20～26号古墳	三次市	4月16日～10月中旬
7	大平遺跡	三次市	6月下旬～10月上旬
8	瀬戸越南古墳	三次市	6月下旬～8月上旬
9	曲第2号古墳	庄原市	7月上旬～9月上旬
10	上陣遺跡	三次市	7月上旬～9月下旬
11	和知白鳥遺跡 (第2次)	三次市	9月下旬～11月下旬
12	段遺跡 (第2次)	三次市	9月下旬～11月下旬
13	頼藤城跡	三次市	10月上旬～11月下旬
14	茶白古墳	三次市	10月中旬～12月上旬



和知白鳥遺跡



広島県内埋蔵文化財 4 法人共同企画
平成18年度「ひろしまの遺跡を語る」

新春
放談

ぶらりひろしま江戸の旅

～西国街道膝栗毛～

- 主催 (財)広島県教育事業団, (財)広島市文化財団,
(財)東広島市教育文化振興事業団,
(財)安芸高田市地域振興事業団
- 日時 平成19年1月6日(土) 11:00～17:00
- 会場 アステールプラザ 中ホール(広島市中区加古町4-17)

近年、広島城跡(城下町:広島市), 四日市遺跡(宿場町:東広島市), 日向一里塚跡(東広島市)など江戸時代の遺跡が相次いで発掘調査され, 当時の様子が少しずつ明らかになってきました。そこで, 県内の埋蔵文化財4法人が共同企画の2回目として「新春放談 ぶらりひろしま江戸の旅～西国街道膝栗毛～」を開催しましたところ, 450人の参加がありました。

基調講演の石川先生は, 現代と比較した江戸時代の人々の「エコ」生活ぶりを取り上げられ, 各事例の報告者は発掘調査の成果や「広島城下絵屏風」, 各地に残る街道の痕跡や古い記録・絵図などを織り交ぜながら, 江戸時代の広島を大胆に語りました。

展示コーナーでは, 広島城跡から出土した遺物や民俗資料を用途ごとにまとめたり, 四日市遺跡で見つかった町割りや庭の池跡, 醸造遺構の写真をパネルにしたりして展示しました。また, てんびん棒を担いでみる体験コーナーも設けました。

私たちの今の生活を新たな視点から見つめるきっかけを提供できたものと思います。



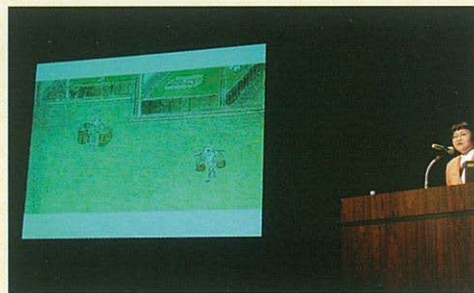
開会式(挨拶:当事業団 吉田貞之理事長)
右側:講師, 左側:主催4法人の役員



基調講演「街道筋の暮らしぶりにみる「エコ」生活」
作家 石川英輔氏



報告Ⅰ「広島城下町～水事情～」
(財)広島市文化財団 松原 啓



報告Ⅱ「広島城下絵屏風にみる西国街道」
(財)広島市文化財団 本田美和子



2012年度調査地点

報告Ⅲ「西国街道四日市宿 ―お宿事情―」
(財)東広島市教育文化振興事業団 中山 学



報告Ⅳ「西国街道をあるく」
当事業団 辻 満久



シンポジウム「ひろしまの江戸時代を掘る」
コーディネーター広島大学名誉教授 河瀬正利氏



展示コーナー「広島城跡出土品」



展示コーナー「四日市遺跡写真パネル」



展示コーナー「広島城跡出土品」



体験コーナー
てんびん棒を担ぐ参加者



4法人の発掘情報コーナー

発掘調査報告会を開催しました

—中国横断自動車道尾道松江線建設事業に係る三次市域埋蔵文化財発掘調査報告会—

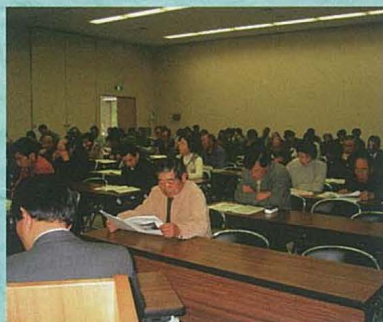
- 主 催 財団法人広島県教育事業団
広島県立歴史民俗資料館
- 日 時 平成19年3月3日(土) 13:00～15:30
- 会 場 広島県立歴史民俗資料館研修室 (三次市小田幸町122)

当調査室では、平成17年度から18年度にかけて、三次市域内で中国横断自動車道尾道松江線建設事業に関係した8か所の遺跡の発掘調査を行ってきました。

今回、これらの調査の報告会を広島県立歴史民俗資料館で開催し、105名の参加がありました。時間の都合で質疑の時間は取れませんでした。皆さん熱心に聴いていただき、職員もついつい持ち時間を超過してしまいました。



報告風景



会場の様子



小都室長あいさつ

編集後記



遅くなりましたが、第100号をお届けします。創刊号は、昭和55(1980)年4月の発行ですから、あしかけ28年かけての100号です。

本年度の調査が5か所の遺跡で始まりました。調査の概要は次号から。お楽しみに。

(財)広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室報 ひろしまの遺跡 第100号

発行日 平成19(2007)年6月1日
編 集 (財)広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室
〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目8番49号
TEL (082) 295-5751
ホームページ <http://www.harc.or.jp>
E-mail maibun@harc.or.jp
発 行 (財)広島県教育事業団
印 刷 西日本印刷(株)